



水中だより

浜松市立水窪中学校 学校だより

第 7 号

令和 8 年 7 月 31 日発行

みんなと活動する子 **さ** いごまで追究する子 **く** じけず、挑戦する子 **ぼ** く、私も自分を磨く子

1 学期終業式 ～充実した 39 日間の夏休みを過ごしましょう～

1 学期の終業式を迎えました。70 日間の 1 学期には、入学式や体育祭、中体連夏季大会など思い出深い様々な行事がありました。そして、地域の方とかわる場面が多くありました。校長から全校生徒へ「自分は水窪のために何ができるか」を考える夏休みにしてほしいことを語りました。



今日で 1 学期が終了します。皆さんはこの 4 ヶ月、「自分らしさ」を発揮できたでしょうか？皆さんの一番近くにいる担任の先生にクラスの 1 学期の頑張りを聞きました。今日は、担任からの「思い」を伝えます。

1 年生、弓場先生より「初めてのことばかりで必死な毎日でしたが、今では自分たちで判断し、動けるようになりました。入学当初からの大きな成長を感じています」。

2 年生、松下先生より「先輩としての自覚が芽生え、学級目標の『和』の通りに仲間を助け合う姿が見られました。学習面でも、1 年生の時よりずっと成長しています」。

3 年生、仲井先生より「見事なリーダーシップで全校をリードし、進路に向けても主体的に学びはじめました。一人一人がリーダーとして、たくましく成長しています」。

担任の先生方だけでなく、全ての先生が皆さんの頑張りをしています。私は毎朝、そして帰りに皆さんと元気な挨拶を交わすたびに、「水窪中は生徒も先生も本当にいい学校だな」と幸せに感じています。2 学期も「自分らしさ」を存分に発揮し、誇れる水窪中学校を共に創っていきましょう。

さて、明日から 39 日間の夏休みです。ここで私から皆さんに「宿題」を出します。皆さんは今、「高根タイム」で「水窪の未来をつくろう」という大テーマのもと、福祉や防災、勤労など、様々な視点で探究活動を行っていますね。森林水資源講座や支所の方から水窪の現状や課題の話聞く中で、いろいろなことを考えたと思います。そこで、この夏休みは、すこし意識を変えてみてください。これまでは、体験活動や行事等、地域の方に「何かしてもらおう」ことが多かったと思います。しかし、これからは、水窪の未来のことを考えながら、「自分は水窪のために何ができるか」という意識に変えてみてください。「水窪のために何ができるか？」例えば、ボランティア活動や、行事やイベントへの参加、支所や文化会館、お店などへ出向いて地域の方や家族、おじいちゃんおばあちゃんからお話を聞くことでも構いません。2 学期には、水窪祭りや峠の国盗り綱引き、夢街道祭りなど、大きなイベントが待っています。ぜひ自分の足で外に出て、「自分ができること」を見つけてきてください。これが私からの宿題です。

では、思いっきり充実した夏休みをお迎えください。8 月 31 日、またこの場で全員と元気に再会できることを楽しみにしています。一学期間、本当に生徒も先生方もみんな頑張りました。お疲れ様でした。

終業式～校長講話～

水窪小・中コミュニティスクール運営合同協議会

7 月 27 日（月）、7 名の委員のみなさんに出席していただき、協議会を行いました。今回は、小中学校の教職員と「小中一貫校へ向けて～魅力的な学校にするために、何が必要か、何ができるか～」をテーマに熟議をしました。

協議会・地域のみなさんとともに、水窪小・中ならではの学校づくりをめざしていきます。



1学期の思い出 ～笑顔いっぱいの生徒たち～

